

「スマホ、タブレット、ゲーム機等に関するアンケート」の集計について

(2022年5月調査)

回答が得られた人数・回収率(小数点以下四捨五入)

〈児童生徒〉

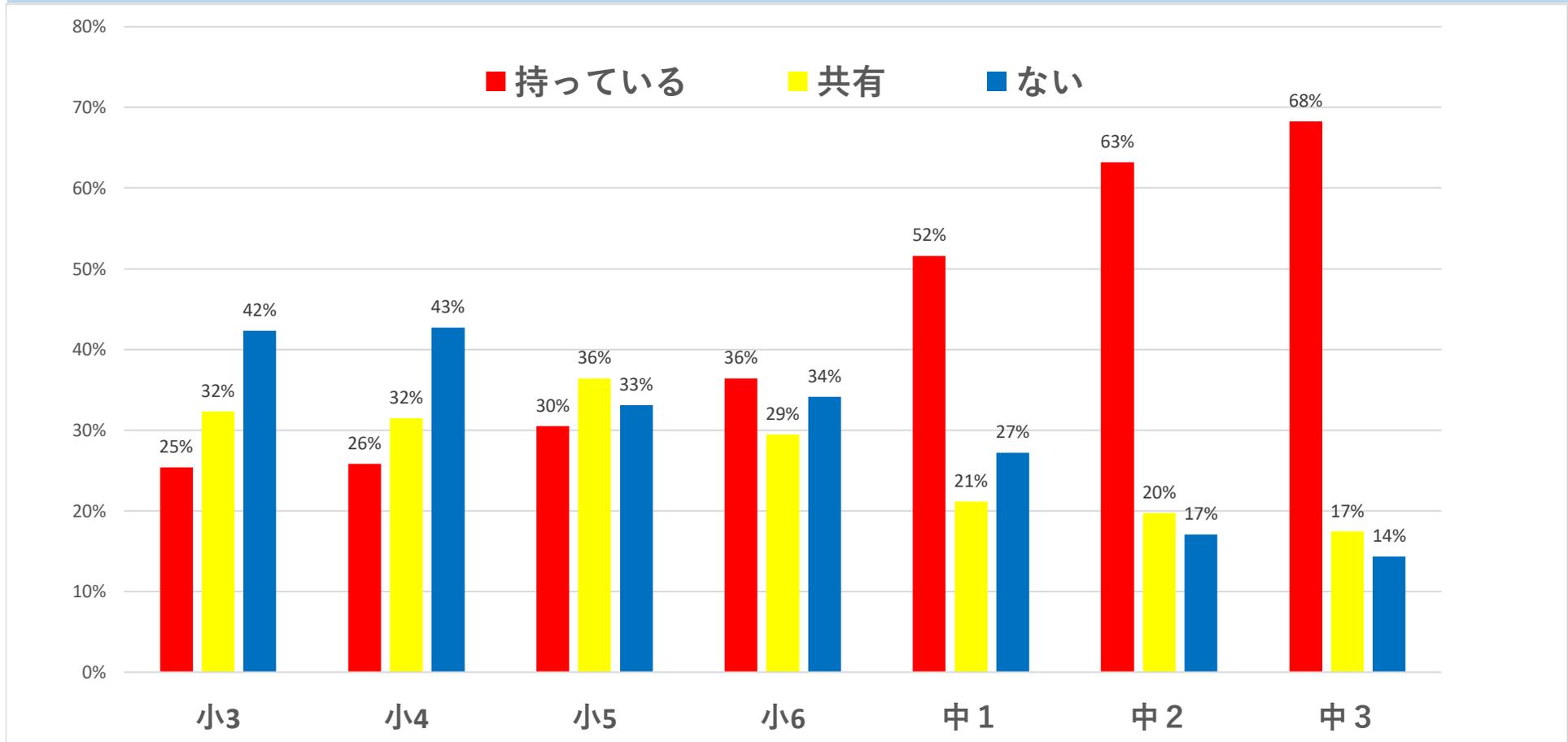
小学校	3年	532人	計 2,070人
	4年	492人	
	5年	571人	
	6年	475人	

2,070(回答数)/2,213(全児童数) 回収率 94%

中学校	1年	496人	計 1,429人
	2年	451人	
	3年	482人	

1,429(回答数)/1,581(全児童数) 回収率 90%

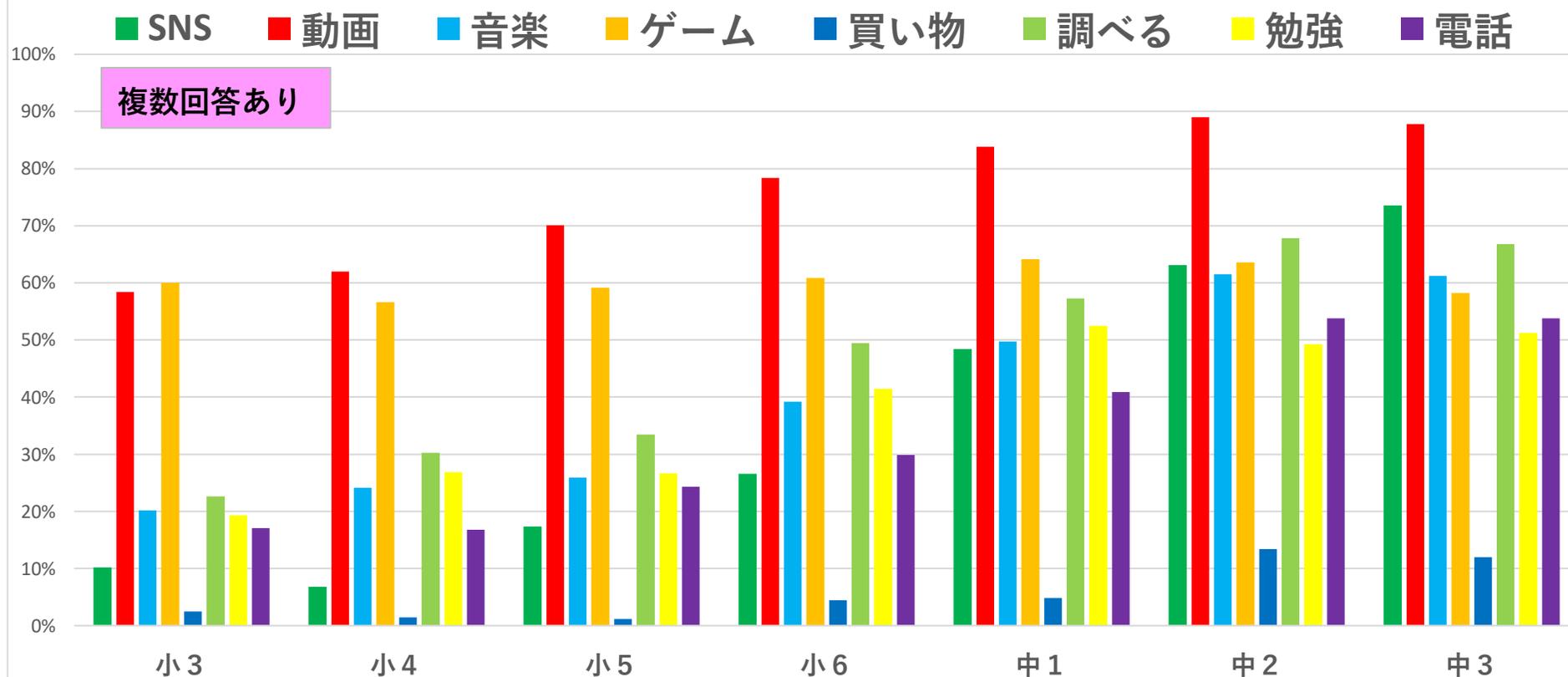
①あなたは、自分がかえるスマホをもっていますか？



小学生では自分所有のスマホは約3割程度、中学1年生でスマホデビューが多い。

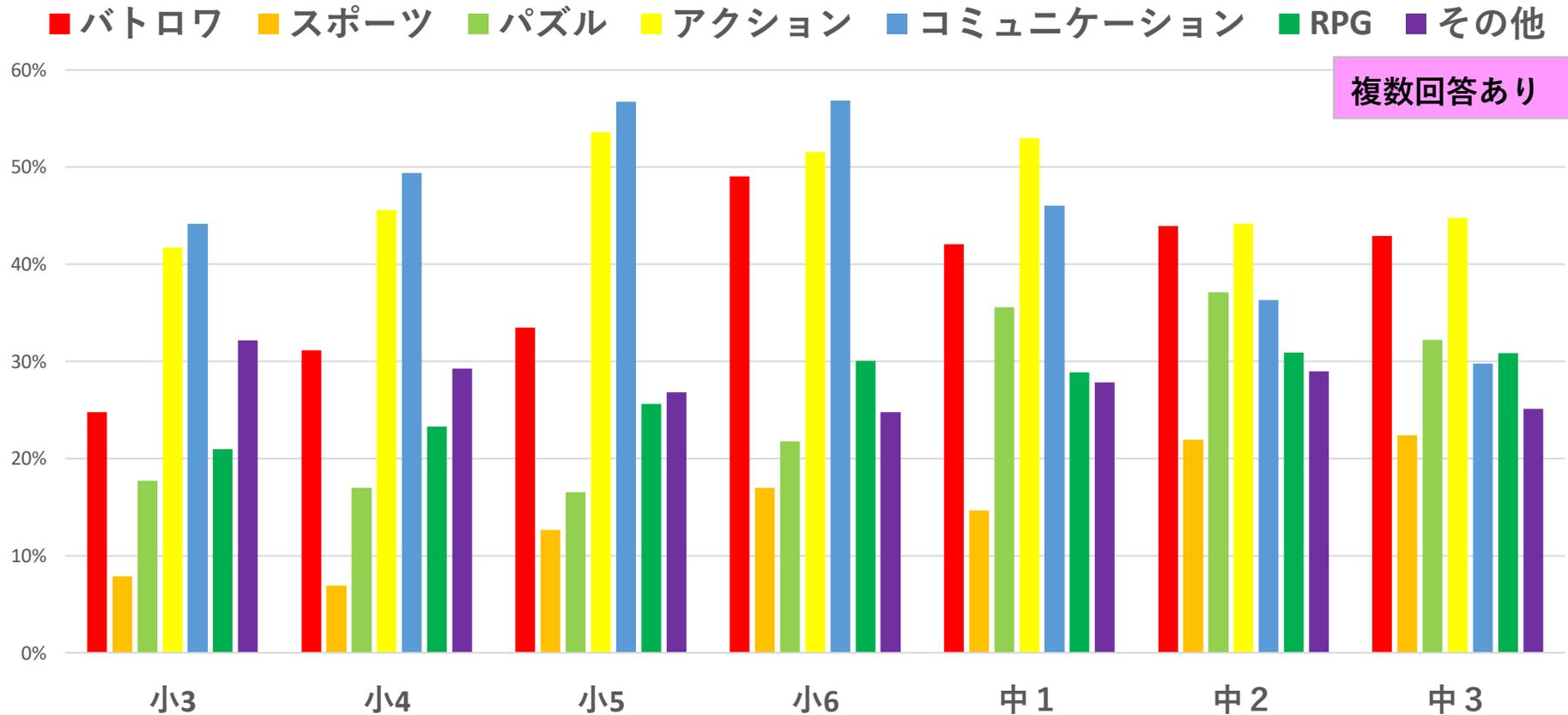
②スマホやパソコン、タブレットでよく使うのは何ですか？

※使っている人だけ答えて。いくつ答えてもよい。



小中学生が一番多く利用しているのは動画の視聴で、その割合が高い。ゲームはどの学年も60%程度の使用割合である。中学生になるとSNSの利用が急増するが、すべての生徒が利用している訳ではない事がわかる。

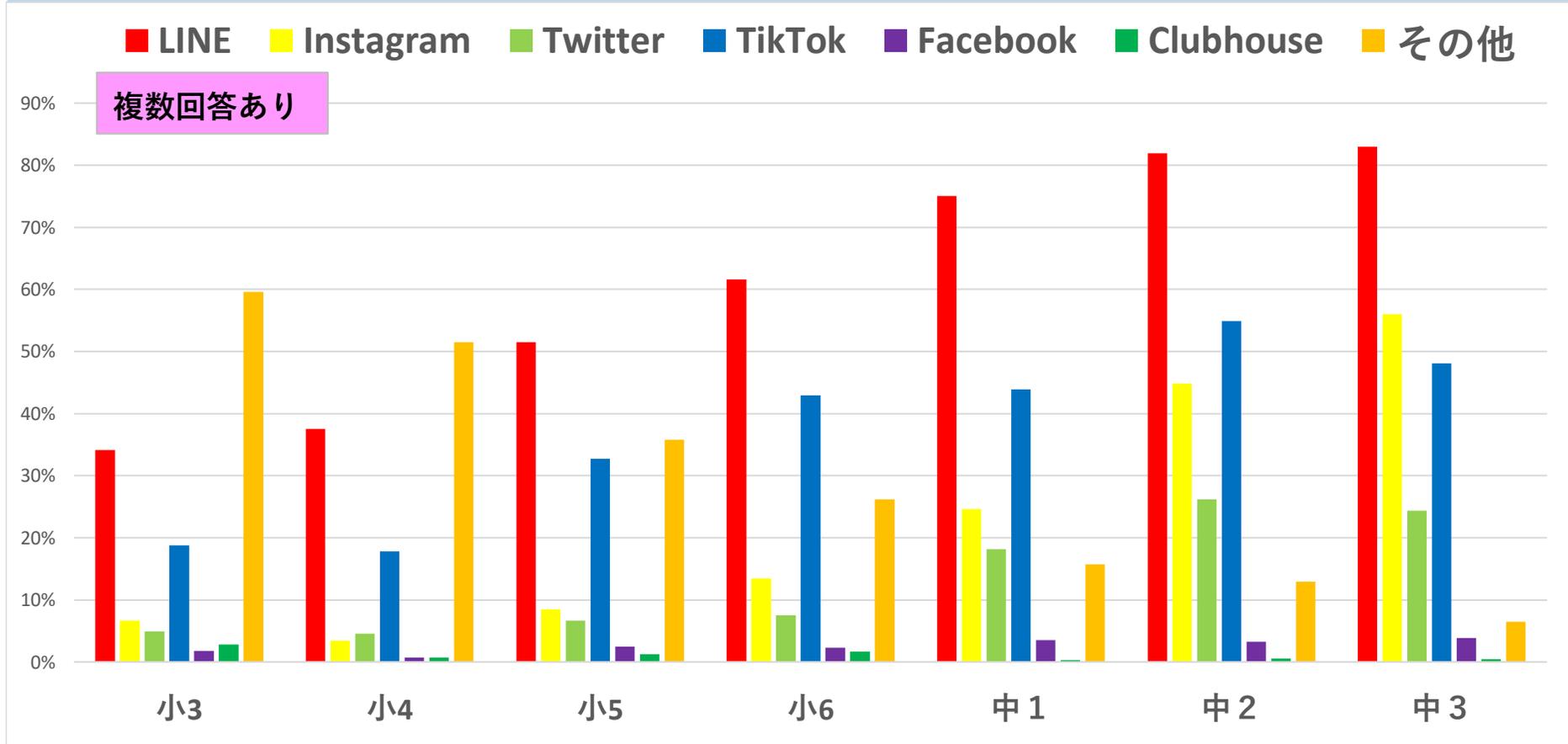
③オンラインゲームについて、よくやっているものは何ですか？



子ども同士のトラブルが多いバトルロワイアルゲームは、小学6年生がピークで、中学生は横ばいである。コミュニケーション、アクションとも小学5.6年生がピークとなり、中学生は学年が上がるごとに減少する。

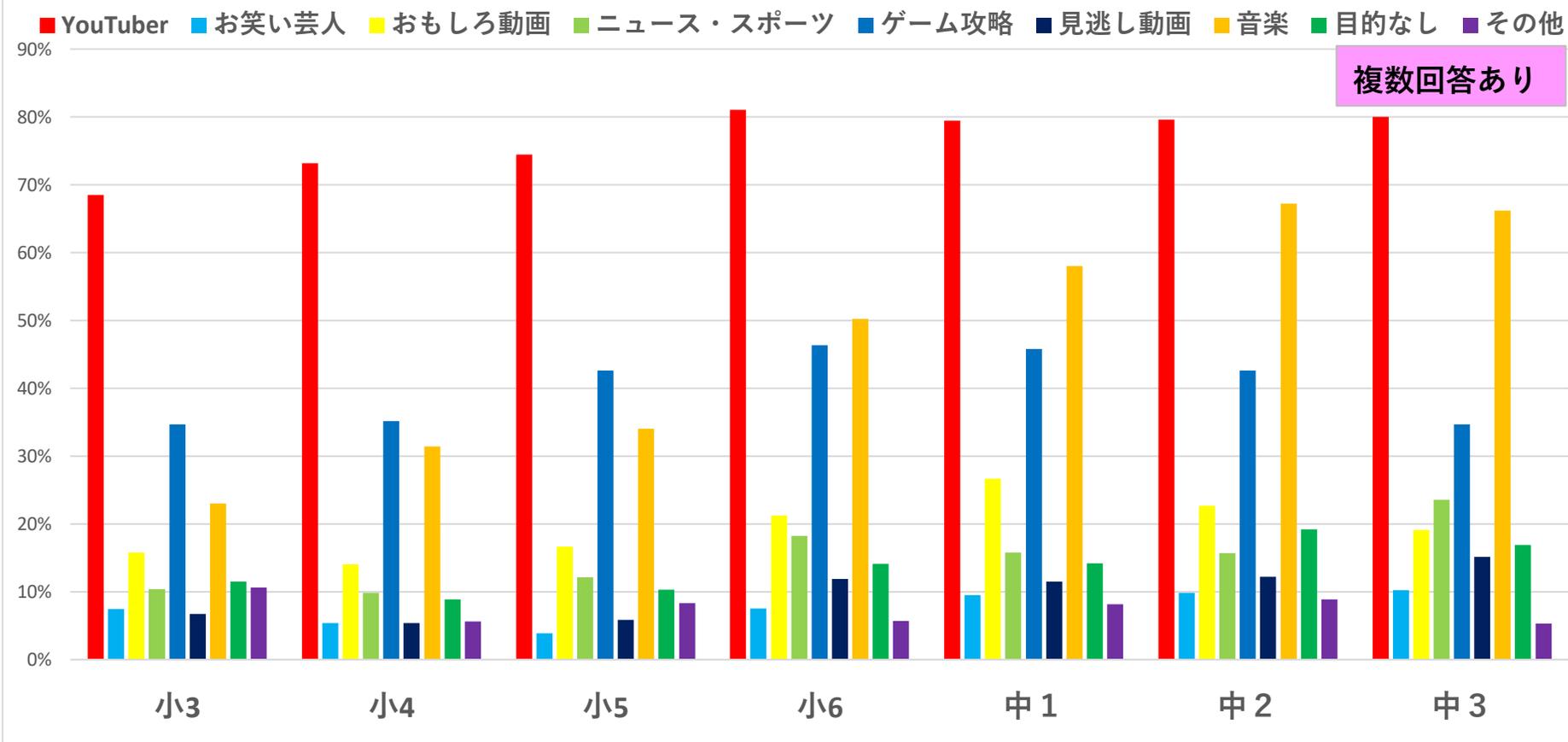
④ SNSについて、よくやっていて当てはまるものをえらんでください。

※使っている人だけ答えて。いくつ答えてもよい。



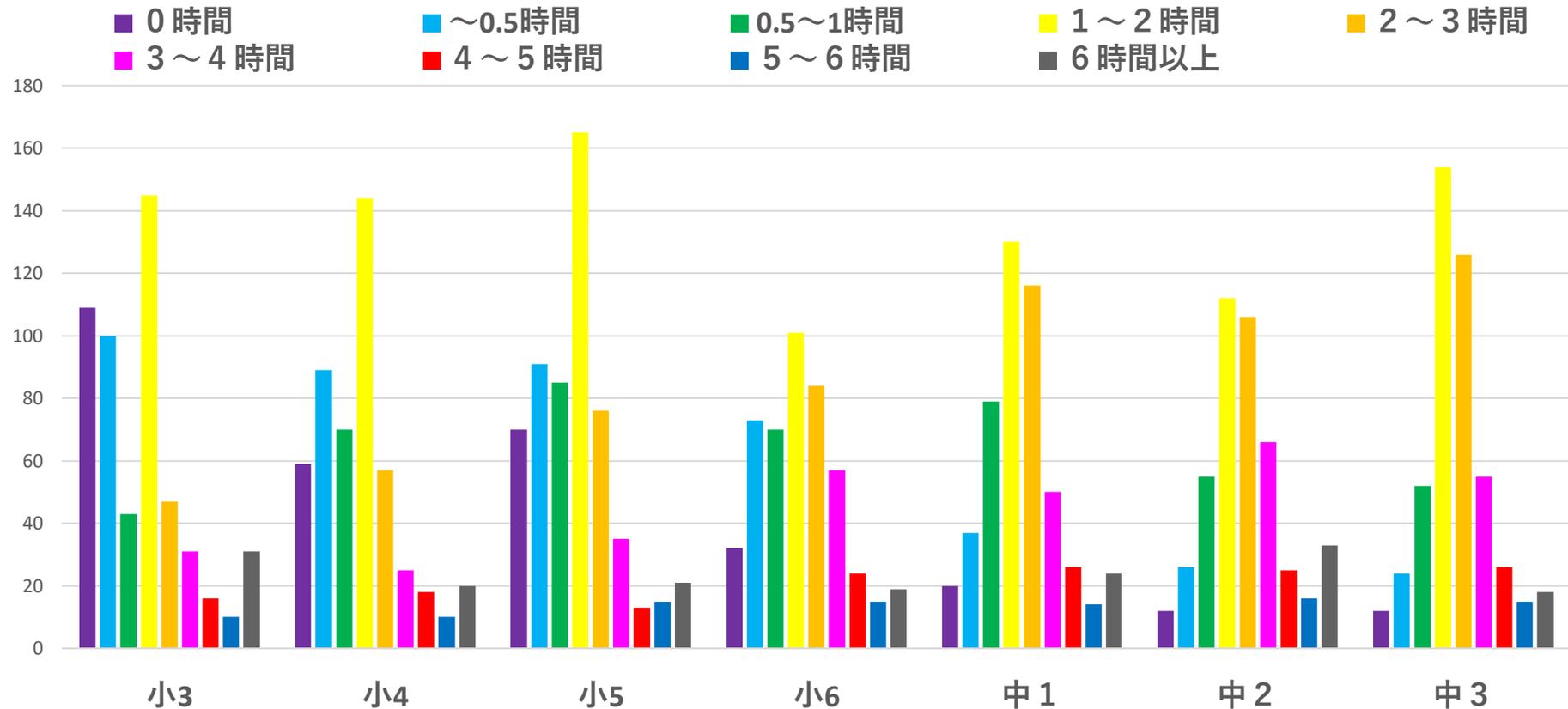
LINEとTikTokの利用が多く、Instagramがそれに続く。LINEは小学5年生から半数以上の利用があり、中学2・3年生では8割を超える。自ら発信をしている場合は個人情報の流出や誹謗中傷などが心配される。

⑤動画について、よく見ていて当てはまるものは？



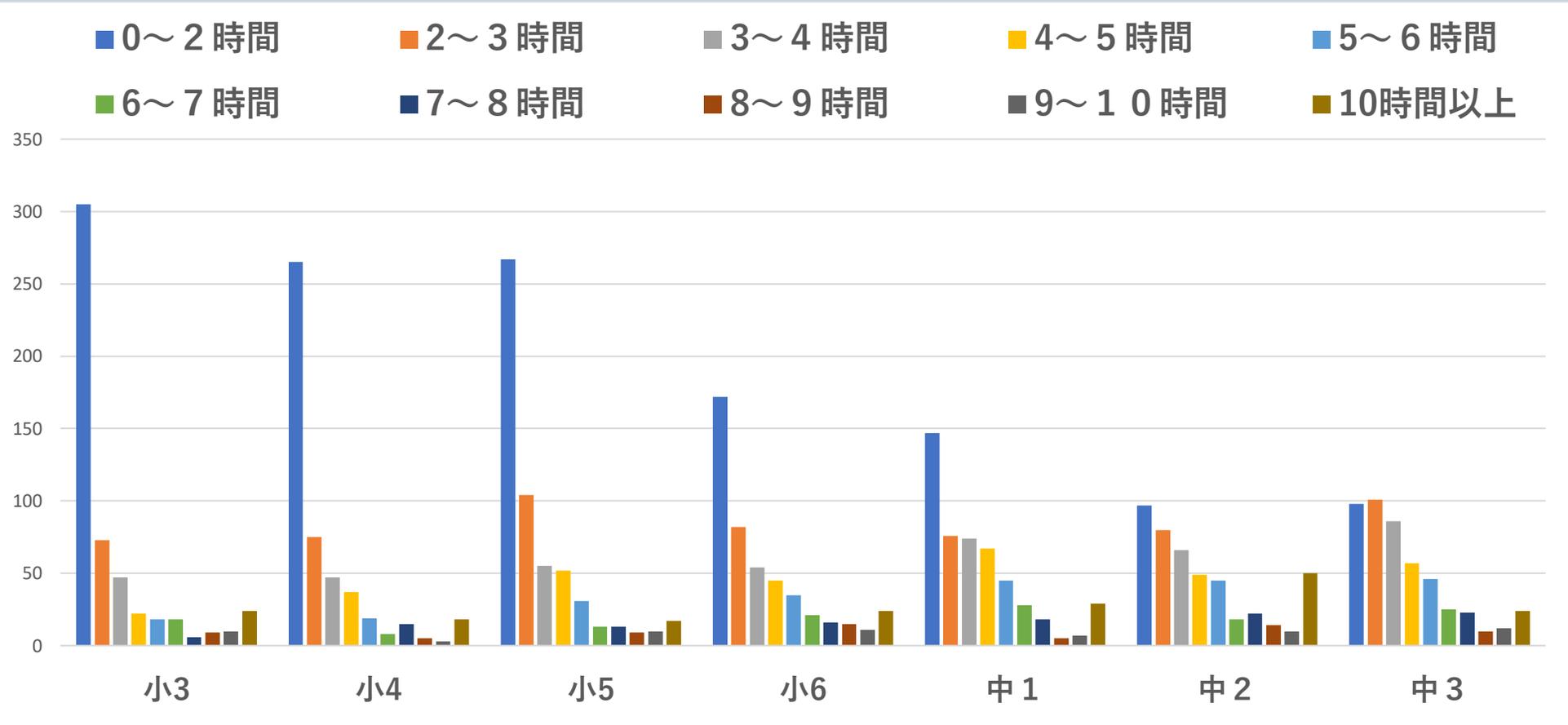
全学年YouTuberの動画を見るのが最も多い。音楽の動画は学年が上がる毎に増加する。ゲーム攻略の動画はほぼ横並び。目的なしがどの学年にも1割程度おり、「つい見てしまう」「やめられない」様子がうかがえる。

⑥-1 平日、学習以外（SNS,ゲーム、動画など）で平均どのくらいの時間、パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム機などを使っていますか？



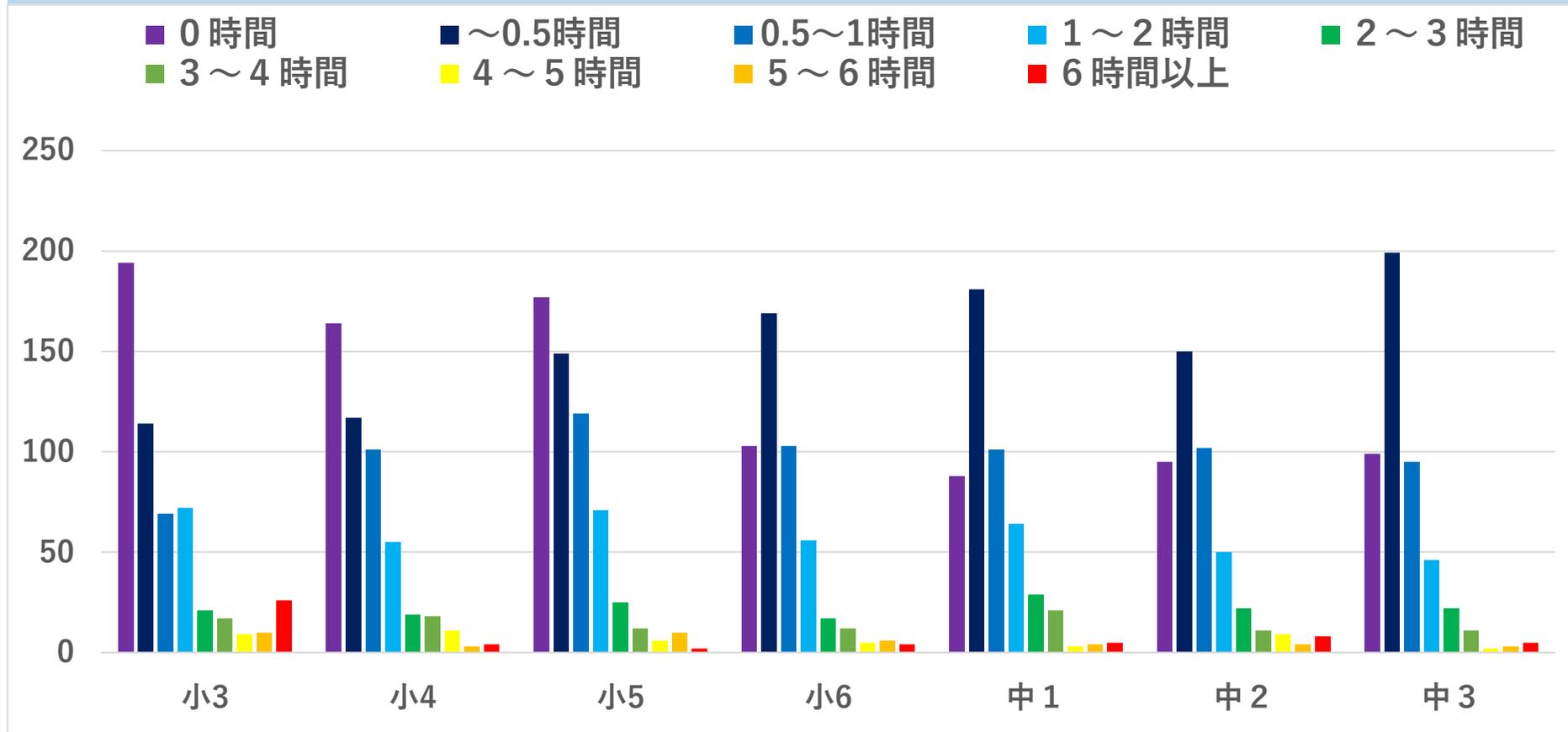
小中学生ともに、学年が上がるにつれて使用時間が増加したが、どの学年も1~2時間がピークである。小学6年生から2時間以上の利用が4割を超え、睡眠時間が削られていないか心配される。

⑥-2 休日、学習以外（SNS,ゲーム、動画など）で平均どのくらいの時間、パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム機などを使っていますか？



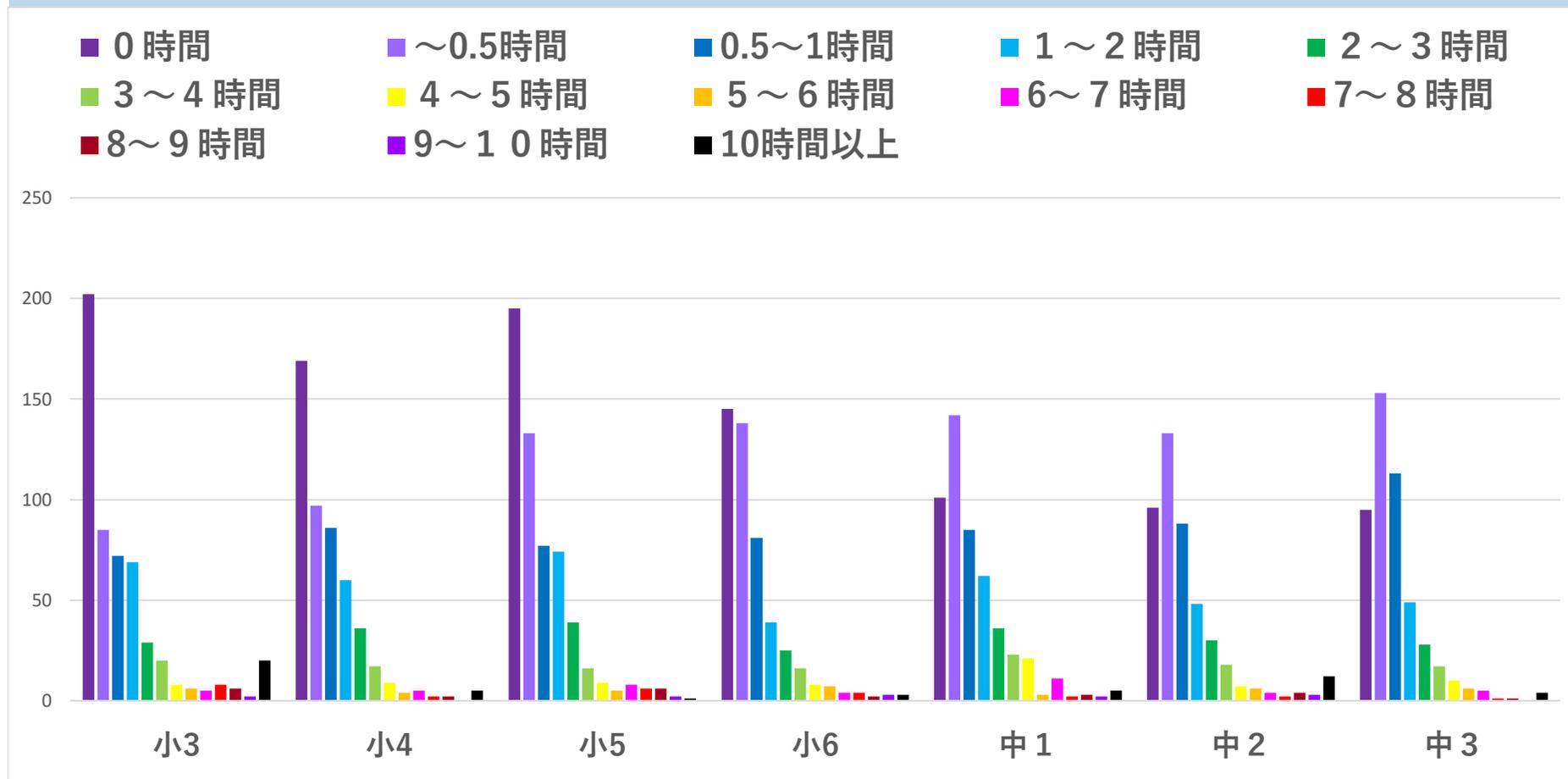
平日と同様に、学年が上がるほど使用時間が多くなる傾向がある。どの学年にも10時間以上電子メディア機器に触れている児童生徒がいる。

⑥-3 平日、学習でICT機器（パソコン、スマホ、タブレット）を平均何時間くらい使っていますか？



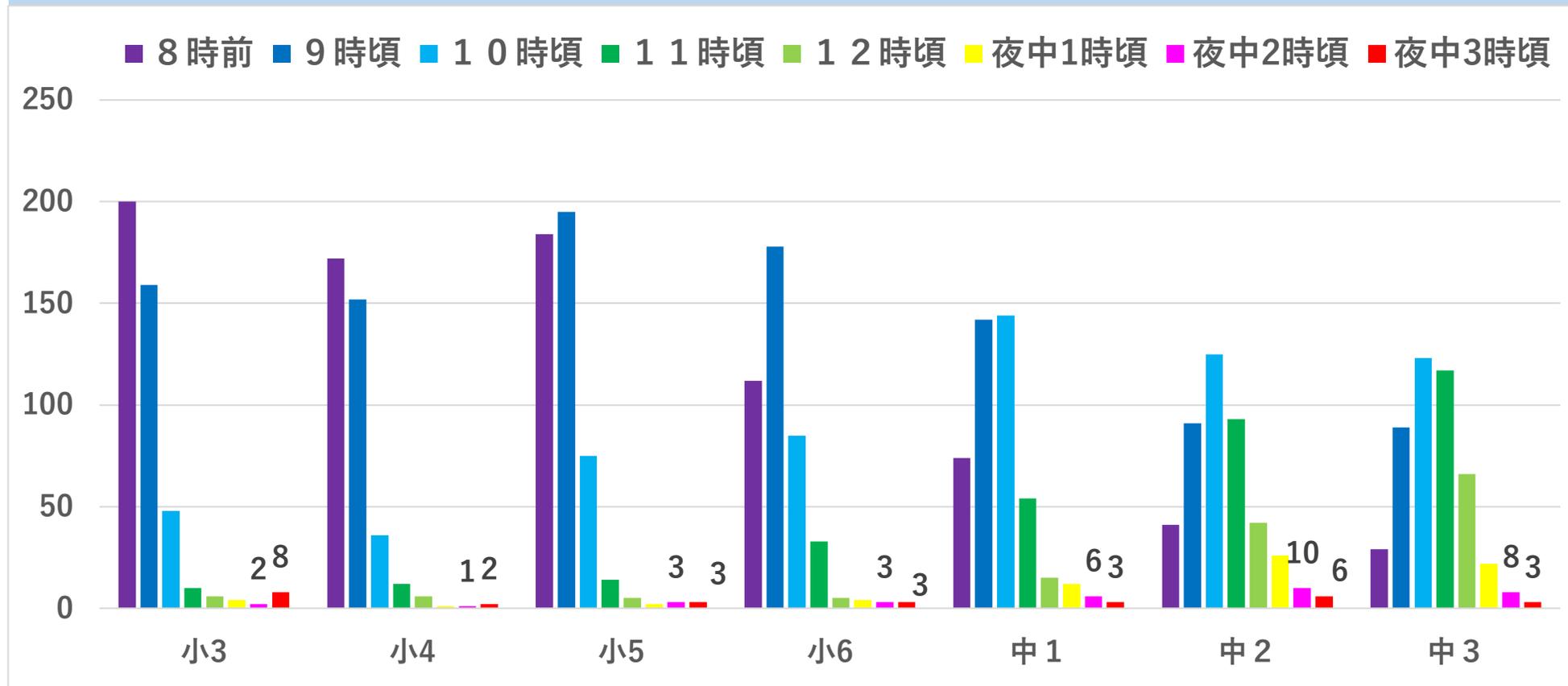
平日の学習での利用はあまり進んでおらず、ほとんど無いといってよい状況である。中学2・3年生でも約8割が1時間未満の利用である。

⑥-4 休日、学習でICT機器（パソコン、スマホ、タブレット）を平均何時間くらい使っていますか？



休日でも、平日と同様の傾向が見られる。若干ではあるが、4時間以上から10時間以上まで数人の使用がある。学習での利用でも健康被害は心配であり、長時間使用は課題である。

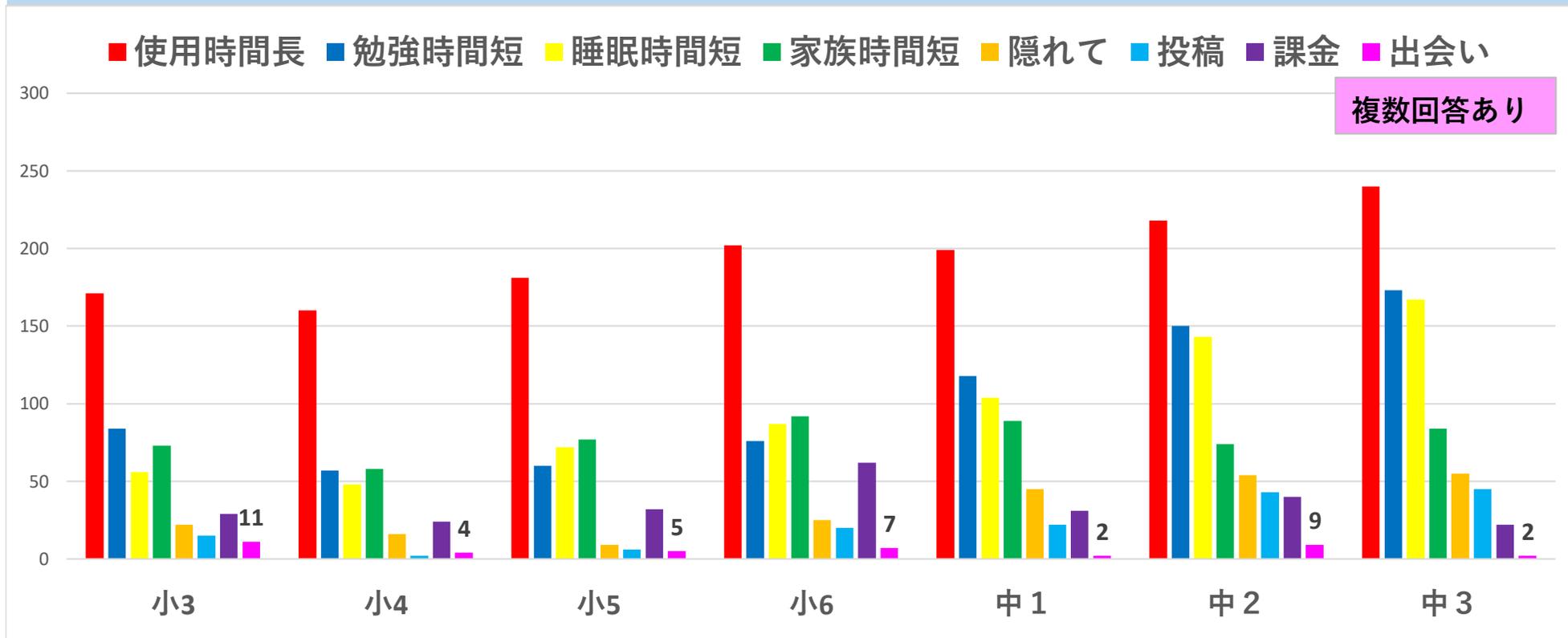
⑦平日の夜、ゲームや動画、SNSなどを何時ごろまでやっていることが多いですか？



小学生は午後9時までにやめる児童がほとんどで、中学生は学年が上がるにつれて遅い時間まで使用している状況である。中学2年生から11時以降の使用が多くなり、3時以降使用している児童生徒もいる。保護者の目の届かない所での使用が多いと見られる。

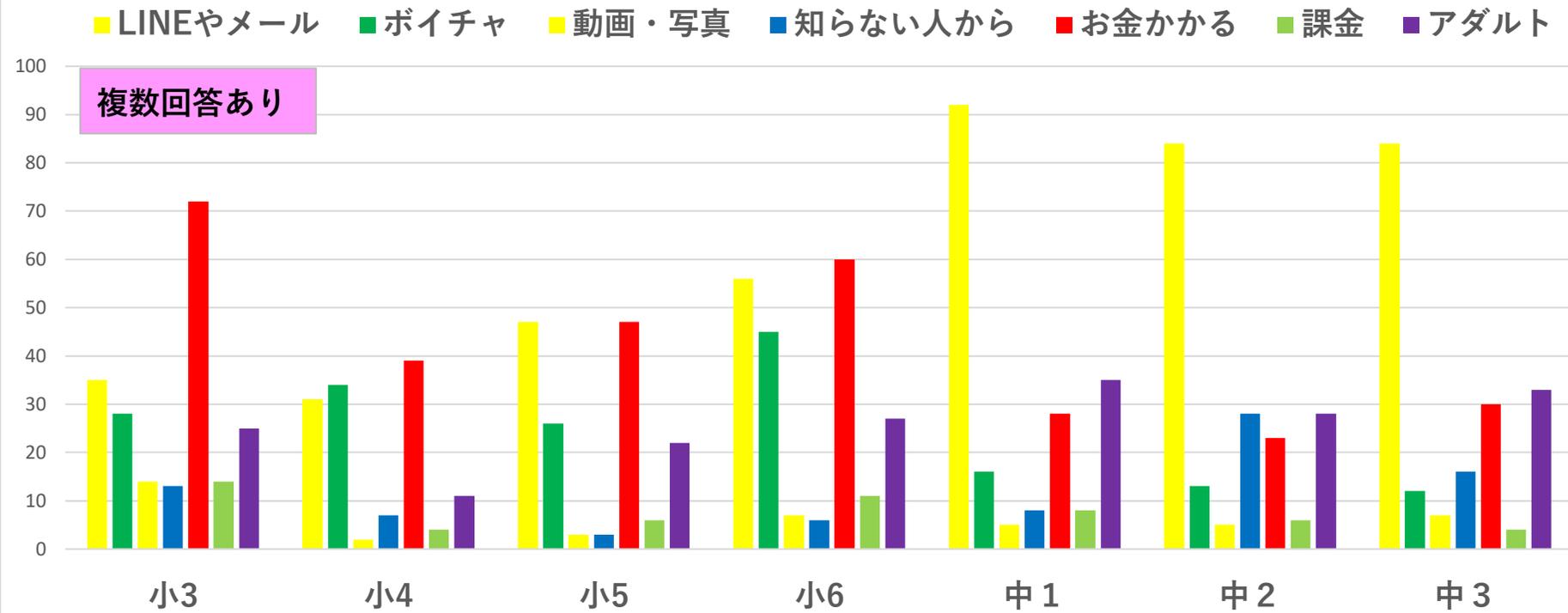
⑧ スマホ、タブレット、ゲームきなどを使うようになって…？

※使っている人だけ答えて。いくつ答えてもよい。



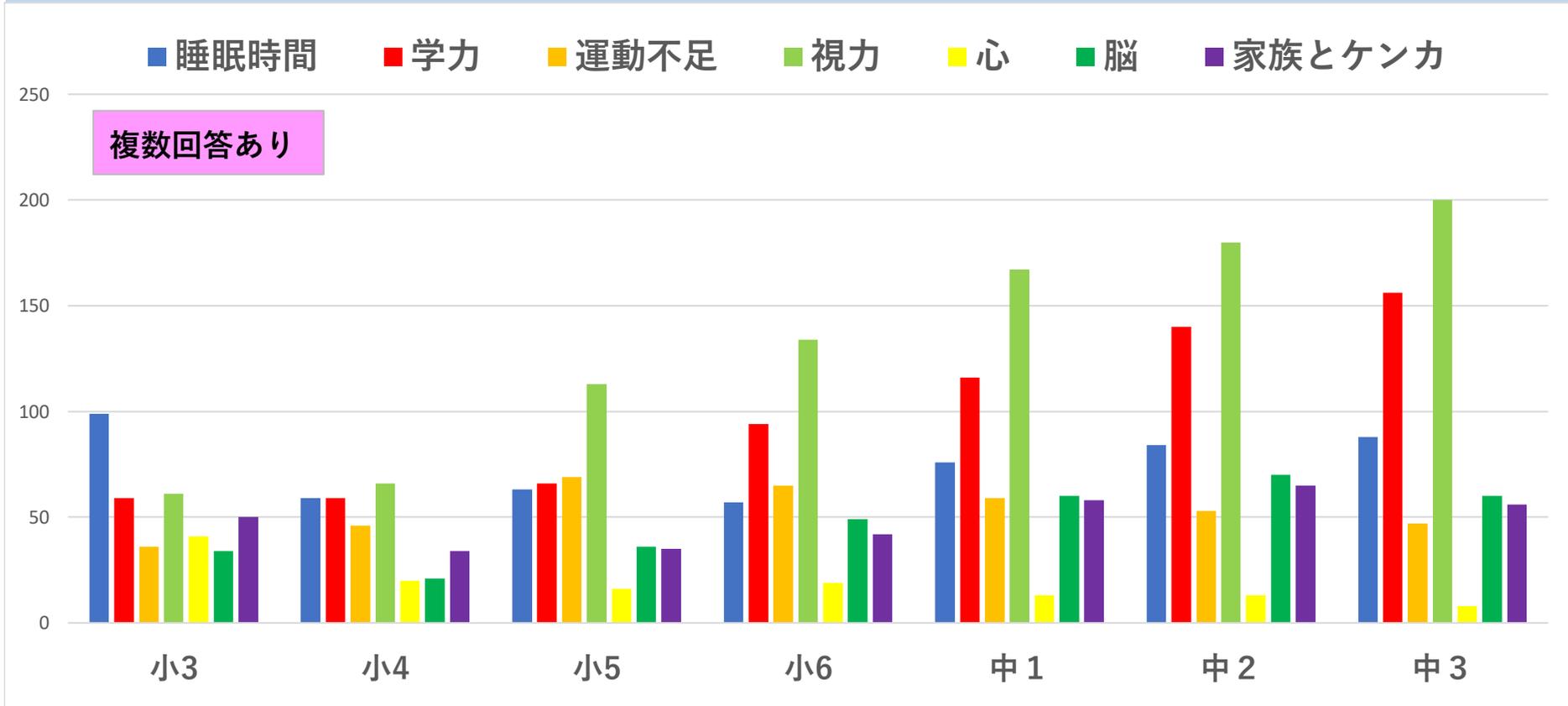
小中学生ともに「使用時間が長くなった」という回答が多い。電子メディア機器の使用が増えた分の時間、学習時間や睡眠時間を削っている状況がみえる。ネットで知り合った人と会っている児童生徒はどの学年にも数人いる。どんな人と会っているか、保護者は承知しているのか心配される。

⑨ スマホ、タブレット、ゲームきなどを使うようになり困った（心配な）ことはありましたか？※使っている人だけ。いくつ答えてもよい。



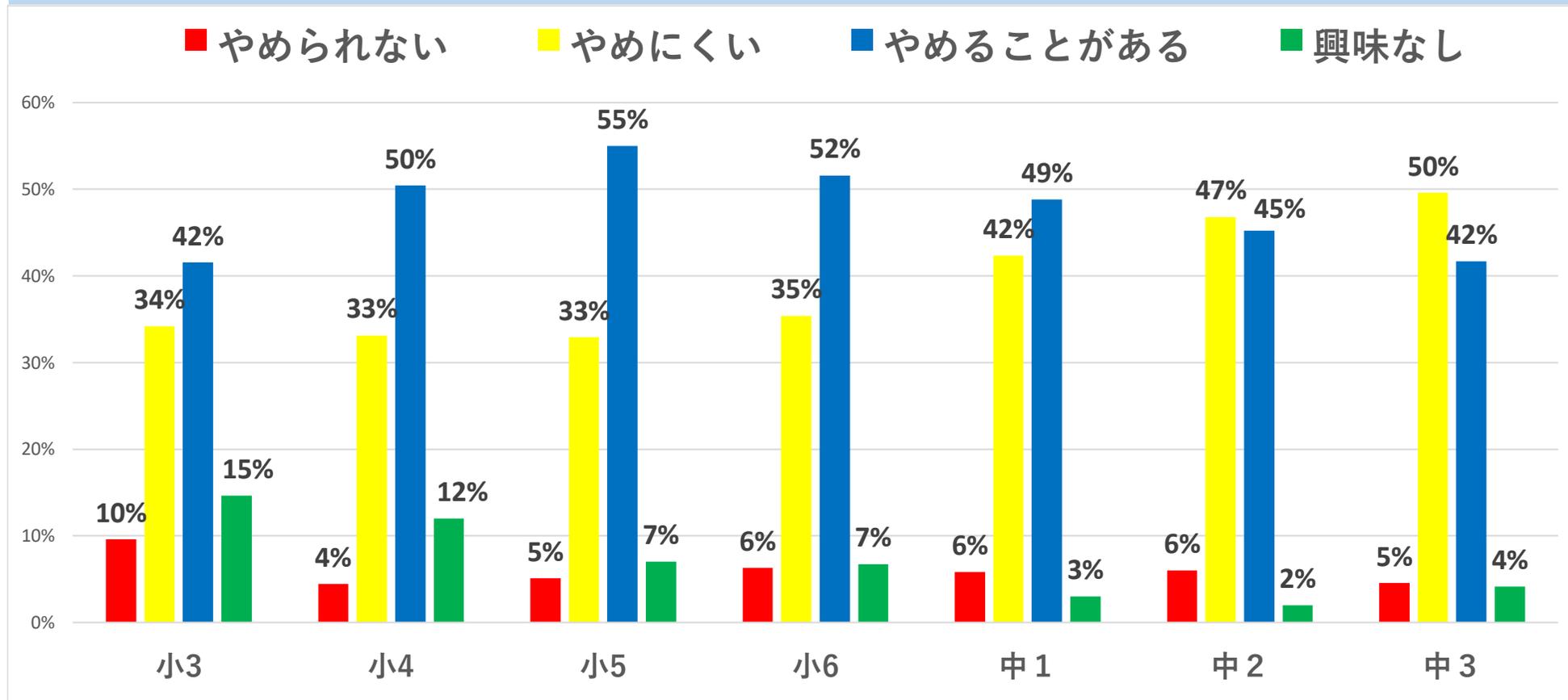
小学生はお金がかかることに心配している。中学生にも同様の心配はあるが、勉強中や就寝時にLINEやメールが来ることに困っている生徒が急増している点は、中学生になってみられる特徴である。これは自分のスマホを持つことで、子ども同士の個人的なやりとりが行われることと関係があると考えられる。アダルトの心配が学年問わずあり、見過ごせない課題である。

⑩ スマホ、タブレット、ゲーム機などを使うようになり、健康などで当てはまることはありますか？使っている人だけ答えて。いくつ答えてもよい。



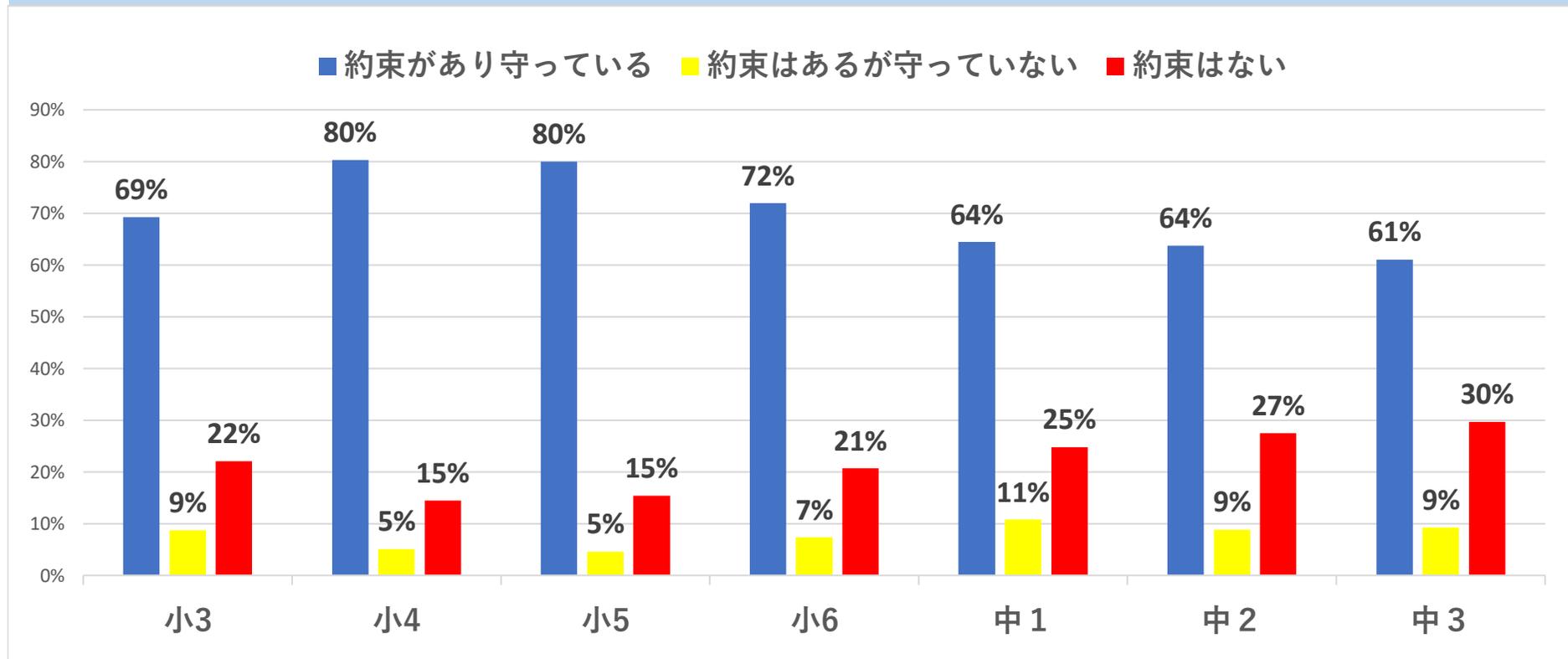
視力を気にする小中学生が多い。学年が上がるごとに学力への心配が増加傾向にあり、中学生になると学力を心配する生徒が増加する。

⑪あなたは、スマホ、ゲーム、インターネットに、どのくらい夢中になっていますか？



小学3年生は「やめられない」児童が10%だが、学年が上がるごとにわずかながら心のコントロールができるようになって、一定の歯止めが利くようになってきていると考えられる。しかし、「やめにくい」が増加傾向にあり、心のコントロールは必ずしも十分とはいえない状況である。

⑫ スマホやタブレット、ゲーム機を使うときのお家の人との約束はありますか？※使っている人だけ答えて。

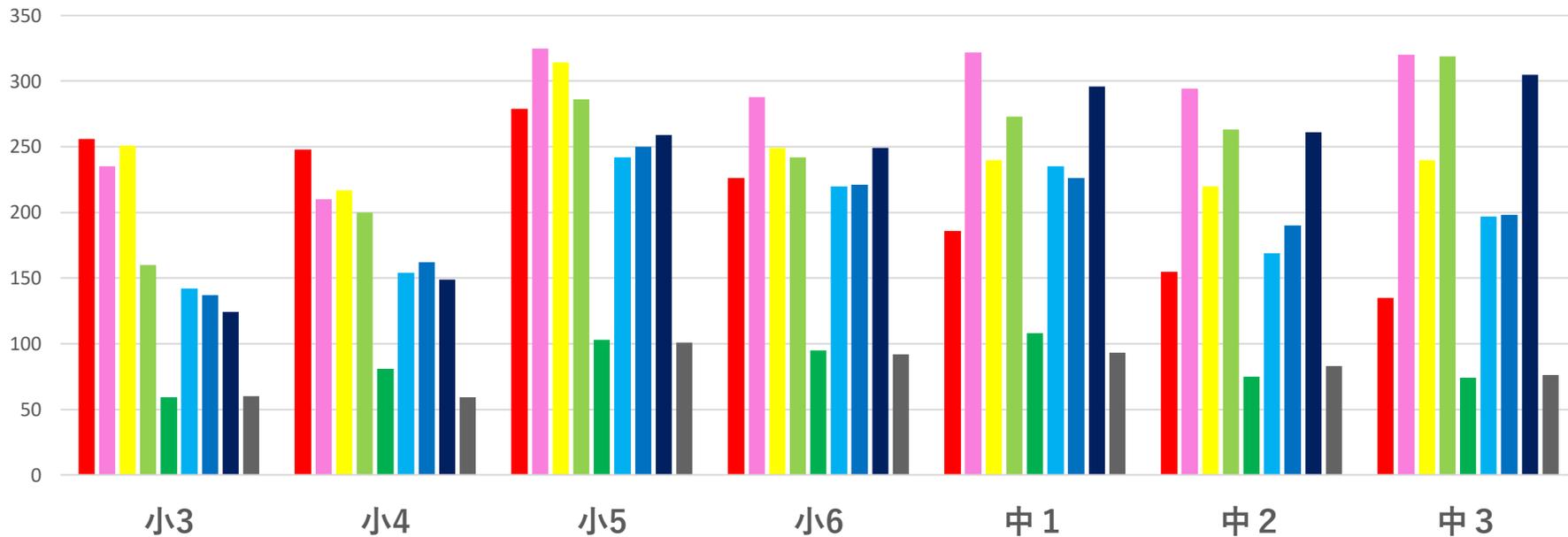


「約束を守っている」と答えている割合が多いが、学年が上がるにつれて減少している。それとは逆に、学年が上がるにつれて「約束はない」と捉えている児童生徒が増加し、中学生で3割に達する。保護者の約9割が約束があると思っているが、内緒で使っているうちに「約束がないがごとくになっている」のではないかと考えられる。また、思春期になると親子のコミュニケーションが減ることも多く、親子関係づくりも大切なポイントである。

⑬ スマホやタブレット、ゲーム機を使うとき心がけていることや決めていることはありますか？※使っている人だけ答えて。いくつ答えてもよい。

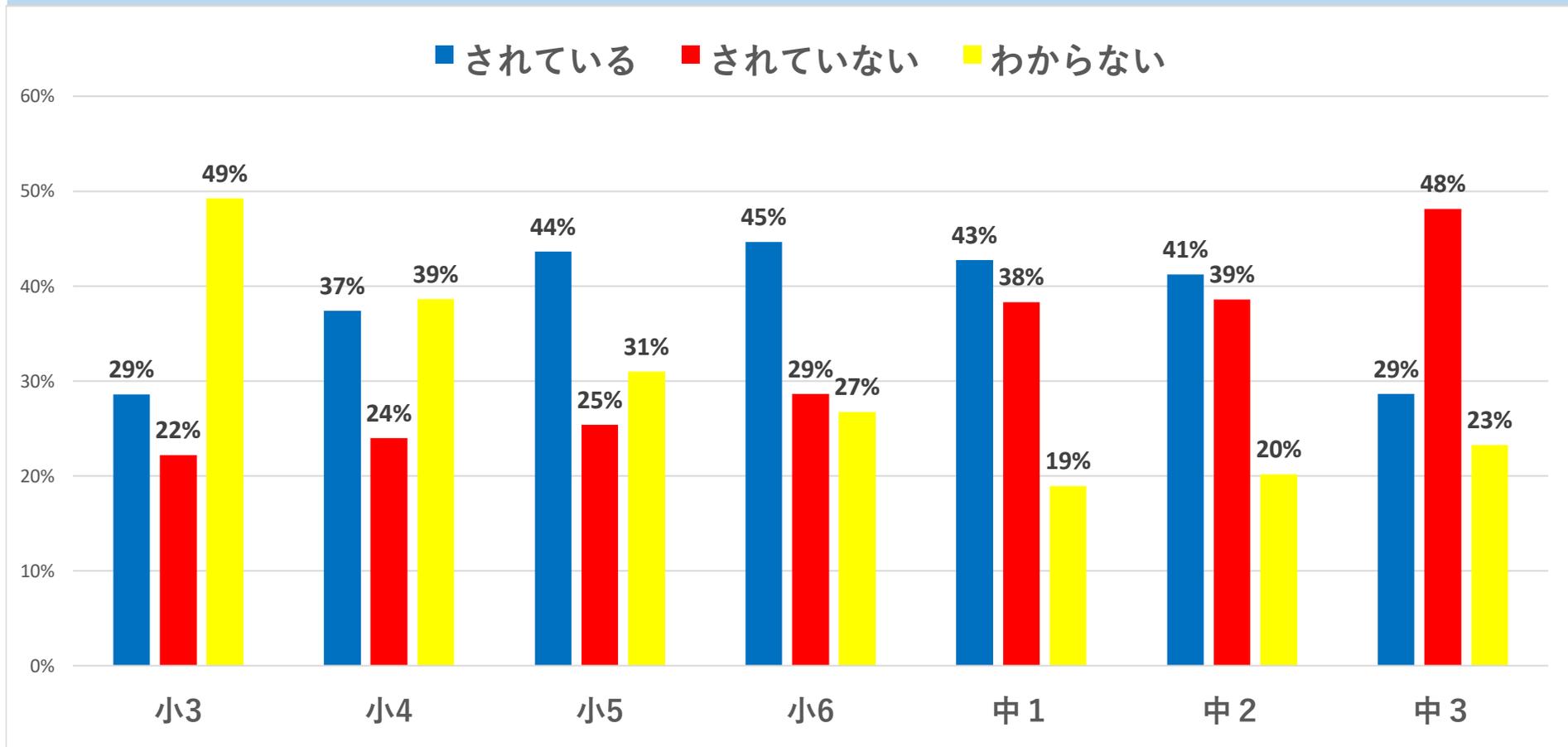
- 時間を決める
- 食事中に使わない
- 勉強中に使わない
- 課金しない
- 課金金額を決めている
- 写真や動画をアップしない
- 知らない人と会話しな
- 会わない
- 時間制限のアプリ

複数回答あり



小学生は「時間を決める」が多いが、5年生から「食事中に使わない」がトップになり中学3年生まで続く。小学5年生から中学生まで「会わない」が多くなり、会うことの可能性などが増加していることを表していると考えられる。

⑭ペアレンタルコントロール（親が時間制限、アプリ制限）をしている。



ペアレンタルコントロールを親が「している」と思っている小学生は3～4割ほどで、中学生になると減少している。保護者は小中学生ともに「している」が6～7割で、親子の意識に大きなずれがみられる。